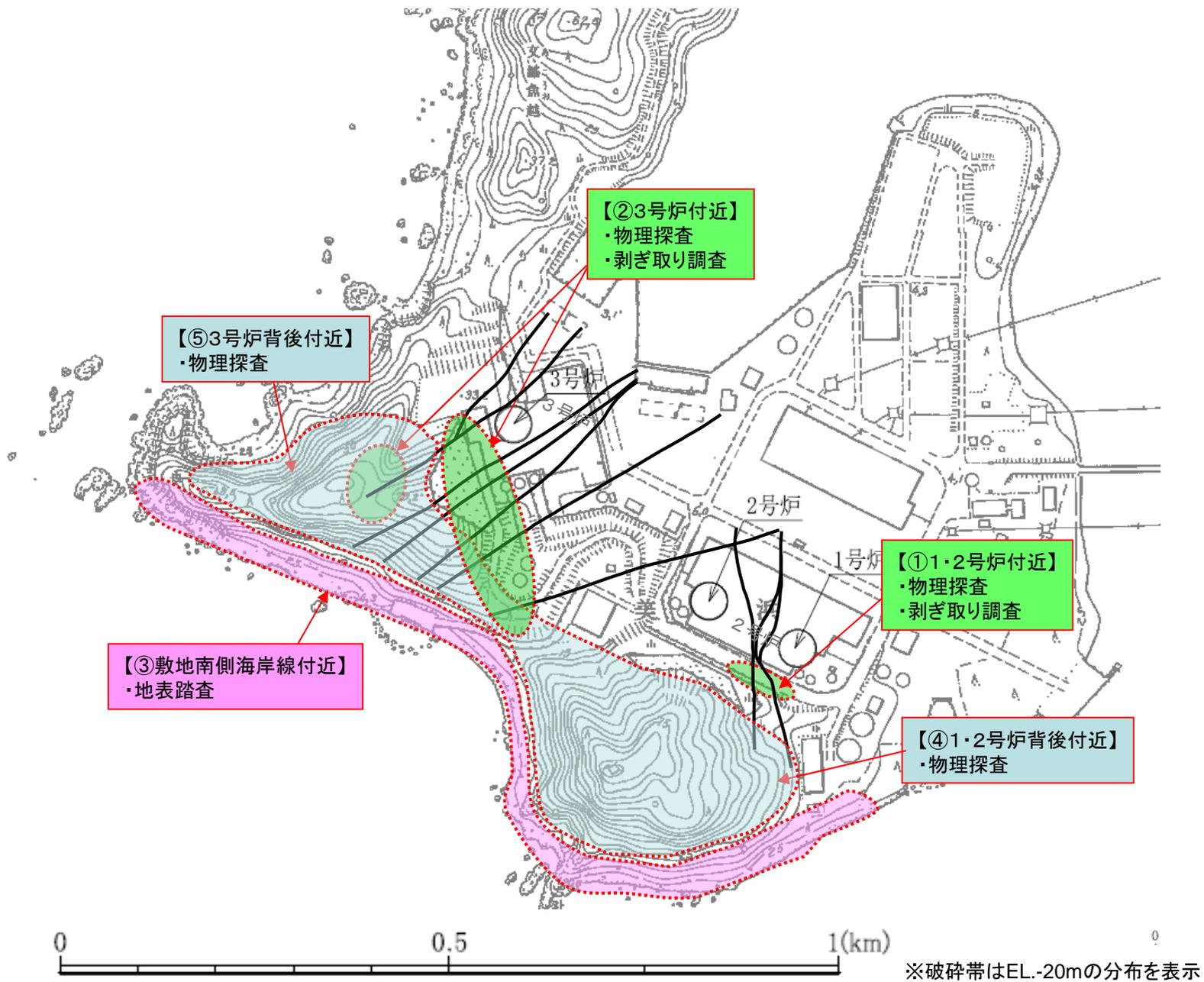
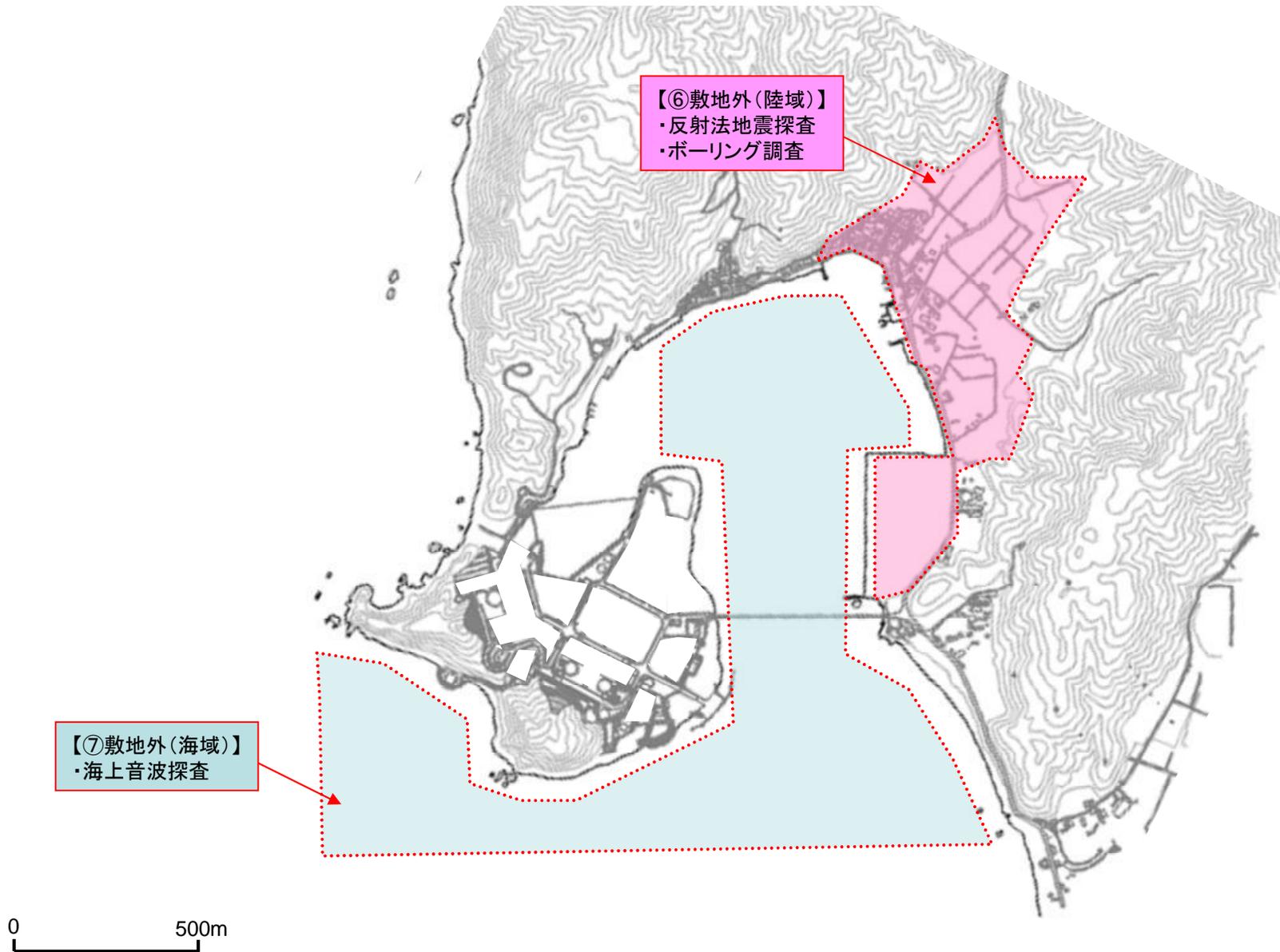


# 美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査計画位置図（敷地内）



# 美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査計画位置図（敷地外）



※海域の調査については、海上音波探査を実施するが、海底地形調査を行う場所もある。なお、調査範囲については、当初予定より拡大して実施する。

# 美浜発電所敷地内破砕帯に関する追加調査計画の概要

ポイント	調査計画位置	調査項目	調査内容
(1) 敷地内の複数の破砕帯の性状（活動年代等）を直接確認するための適切な場所を選定の上、当該箇所における必要な調査（破砕帯内物質の年代測定や上載地層の変位・変形の有無等）	① 1・2号炉付近	物理探査 剥ぎ取り調査	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の年代測定。
	② 3号炉付近	物理探査 剥ぎ取り調査	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の年代測定。
	③ 敷地南側海岸線付近	地表踏査	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の年代測定。
	④ 1・2号炉背後付近	物理探査	・破砕帯の南方への連続性の確認。
	⑤ 3号炉背後付近	物理探査	・破砕帯の南方への連続性の確認。
(2) 敷地内の複数の破砕帯と周辺の活断層（白木－丹生断層）との地質構造上の関連性を明らかにするための調査	⑥ 敷地外（陸域）	反射法地震探査 （ボーリング調査含む）	・敷地内破砕帯と白木－丹生断層との関連性について検討。 ・ボーリング調査により、反射面と地層とを対比し、説明性の向上。
	⑦ 敷地外（海域）	海上音波探査	・敷地内破砕帯と白木－丹生断層との関連性について検討。
	⑧ 敷地周辺	航空レーザー測量	・航空レーザー測量によりDEMを作成し、変動地形の有無を再検討するとともに、敷地内破砕帯と白木－丹生断層との関連性について検討。

※調査位置、調査項目、調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

# 美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査工程

平成25年 1月 18日現在

調査計画位置	調査項目	平成24年				平成25年		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		計画承認 ▼				中間報告 ▼		最終報告 ▼
準備 (許認可含む)	自然公園法、工場立地法、森林法、鉱業法※2		自然公園法他					
① 1・2号炉付近	物理探査	※1調査		解析				
	剥ぎ取り調査・試料分析			調査				
② 3号炉付近	物理探査	※1調査		解析				
	剥ぎ取り調査・試料分析			調査				
③ 敷地南側海岸線付近	地表踏査・試料分析				調査			
④ 1・2号炉背後付近	物理探査	※1調査		解析				
⑤ 3号炉背後付近	物理探査	※1調査		解析				
⑥ 敷地外 (陸域)	反射法地震探査	※2調査		解析				
	ボーリング調査 (試料分析含む)			調査				
⑦ 敷地外 (海域)	海上音波探査	※2調査		解析				
⑧ 敷地周辺	航空レーザー測量			調査	解析			
総合評価								

(凡例)

計画  
 計画  
 実績

準備
  調査
  解析

※調査位置、調査項目、工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。更なる工程短縮について継続して検討していく。  
 ⑥、⑦については、測定機材の空き具合や関係者との調整で、大きく変わる場合がある。  
 ⑧については、天候と資機材の空き具合で、大きく変わる可能性がある。

※1：現地の状況を確認した結果、伐採が不要となったため工程を前倒した。  
 ※2：鉱業法申請が不要となったため工程を前倒した。